

令和3年度 第2回やまなしプラスチックスマート連絡協議会

【日時】

令和3年11月6日（土曜日） 13時30分～15時30分

【場所】

防災新館 409 会議室（甲府市丸の内1-6-1）

【内容】

14名の委員（オンライン出席を含む）が参加し、行政や各団体におけるプラスチック対策の情報共有及び、協議会の今後の取組についてなど、以下の点について意見を交わしました。

1. 山梨県によるプラスチックごみ問題に対する事業中間報告

- ・令和3年度事業
 - ①リユース食器等導入支援事業費補助金
 - ・令和3年度補助事業について紹介
 - ②マイクロプラスチック河川調査
 - ・令和3年10月に富士川水系8地点で調査を実施
 - ③流域他県と連携した環境美化啓発イベント（静岡県海岸）
 - ・令和3年10月30日に静岡県富士市内の海岸での清掃ツアーを実施
 - ・山梨県からは40名が参加

2. 山梨県によるプラスチック資源循環促進法についての説明

- ・プラスチック資源循環促進法に係る政省令について以下のとおり説明
 - ①特定プラスチック使用製品の指定
 - ②特定プラスチック使用製品多量提供事業者の要件
 - ③容り法指定法人に委託する場合の分別収集物の基準
 - ④プラスチック多量排出事業者の要件

3. 協議会団体等の事業・成果報告

○（公社）食品容器環境美化協会 山梨地方連絡会議

「飲料業界での資源循環の取組について」

- ・アダプト・プログラム助成制度について

清掃活動をしている団体で、自治体と合意書を交わしている団体に助成する制度。ポイ捨て防止に関わる費用のみが助成金の対象となる。

2021年度は、助成金コース31団体、清掃グッズコース38団体を助成対象とした。

- ・散乱防止の啓発

文部科学省、農林水産省、環境省の後援を得て散乱防止・リサイクルの実践教育で優秀な成果をあげている全国の小・中学校の表彰を行っている。

山梨県では、山中湖村立山中小学校を優良校として表彰した。

○山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト

「リフィルジャパン」の取組について

山梨マイクロプラスチック削減プロジェクトは、2021年4月からリフィルやまなしの事務局を担っている。リフィルジャパンと連携し、山梨県内で、空になったマイボトルに水を入れることができる「給水スポット」の設置を呼びかけている。現在、山梨では店舗6軒、公共スポット4ヶ所が登録されている。

4. 協議会の今後の取組について

協議会の今後の取組として、協議会構成団体に対し、山梨マイクロプラスチック削減プロジェクトが主催する、映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらがつくる2050年～」の視聴を通じた勉強会の周知への協力を提案し、意見交換を行った。

この取組への協力は強制ではなく、それぞれの団体が協力できることを判断して、できる範囲で協力してほしいという趣旨である。

意見交換では、各団体の事情から、協力の仕方について課題があるという意見があったが、勉強会の取組自体はすばらしく、協議会として協力できることは協力するという方向で、協議会に出席した団体からは了解を得られた。

また、今後はこの勉強会以外で、協議会に協力してほしい取組の提案があれば、この協議会で情報共有し、団体として協力できることがあれば協力していくことが確認された。

○映画「マイクロプラスチック・ストーリー」について

- ・ニューヨークの子ども達が、プラスチックごみ問題に取り組むドキュメンタリー映画
- ・映画の時間は1時間20分程度
- ・映画は英語版（日本語字幕付き）で、現在日本語吹き替え版を制作中

○勉強会の企画内容

- ・令和3年度内に、行政職員（県・市町村）、教職員、一般の方それぞれに対して、映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらがつくる2050年～」の視聴を通じた勉強会を実施予定

【構成団体からのご意見】

<県の事業について>

- リユース食器等導入支援事業費補助金を有効活用するために、市町村への呼びかけをもう一押ししてほしい。
- 今年度は静岡県の海岸清掃ツアーを実施しているが、桂川・相模川の流末である神奈川県茅ヶ崎海岸もプラスチックごみが多い状況なので、桂川流末での海岸清掃ツアーの実施を検討してほしい。
- トランク・ミュージアムの郡内での展示を検討してほしい。

＜プラスチックのリサイクル方法について＞

- アウター等の衣類製品は、洗濯するたびにマイクロファイバーがマイクロプラスチック化するため、ペットボトルのカスケードリサイクル先の製品としては見直した方がいいのではないか。

※カスケードリサイクルとは

回収したペットボトルを細かく砕いた再生フレークを原料にして、ペットボトルとは異なる用途の製品をつくる方法。

＜協議会の今後の取組について＞

- 勉強会は有意義なものになると思うが、映画を見ていないため評価ができないことと、勉強会の全体像を見ることができないことが気になる。取組自体には賛成である。
- この映画を見たことがあるが、子ども目線でわかりやすく、私自身勉強になった。一人でも多くの方がこの映画を見ることで、何かしらのアクションにつながるのではないかと思う。
- 映画を見ることは勉強になると思うが、周知への協力については、周知にかかる費用や方法など、どのように協力できるのかが課題だと思う。
- この勉強会を全般的に県民に広げるのであれば、経費の面での協力を検討してほしい。
- この勉強会を手始めの位置づけで考え、今後も取り組みを提案する団体がいたら、この協議会で情報共有を行いたい。
- それぞれの分野や立場から、取組の提案がされるようになればいいと思う。
- 多くの方がこの協議会に参加されているので、目指すべきゴールも色々あっていいと思う。